

経営比較分析表（平成28年度決算）

栃木県佐野市 佐野市民病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------------|-----------------------|---------|---------------|------------|
| 当然財務 | 病院事業 | 一般病院 | 200床以上～300床未満 | 非設置 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 指定管理者(利用料金制) | 17 | - | F透1別 | 救へ |
| 人口(人) | 建物面積(m ²) | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 120,437 | 15,525 | 非該当 | 7:1 | |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

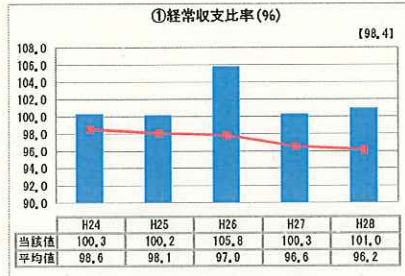
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床(一般) | 許可病床(療養) | 許可病床(結核) |
|----------|-----------|-------------|
| 164 | 94 | - |
| 許可病床(精神) | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計) |
| - | - | 258 |
| 稼働病床(一般) | 稼働病床(療養) | 稼働病床(一般+療養) |
| 112 | 94 | 206 |

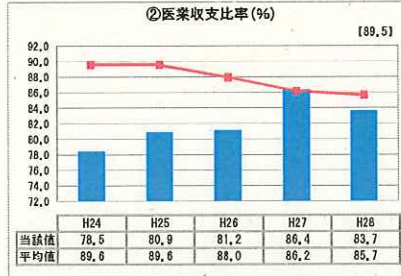
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 平成28年度全国平均

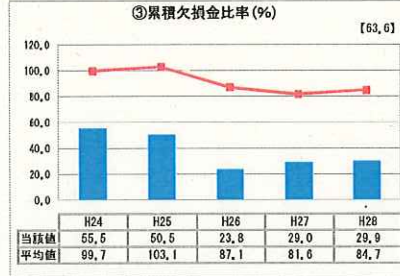
1. 経営の健全性・効率性



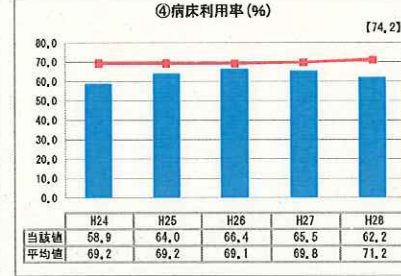
「経常損益」



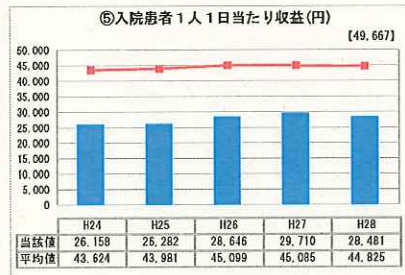
「医薬損益」



「累積欠損」



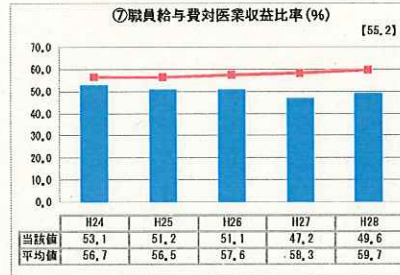
「施設の効率性」



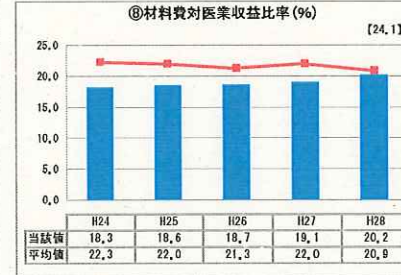
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

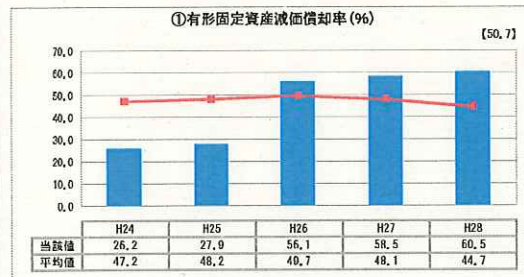


「費用の効率性①」

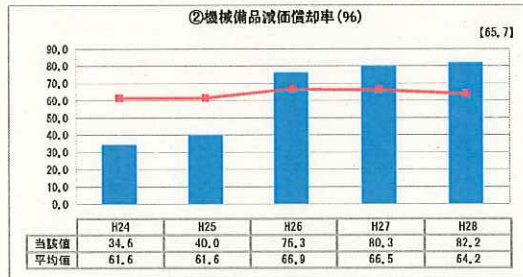


「費用の効率性②」

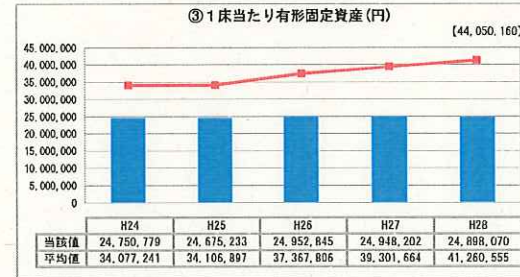
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

総合的な診療科目を備えた地域の中核病院として、長年にわたり地元に着目して地域医療を支えてきました。また、へき地医療拠点病院として、市内5か所の国民診療所(内へき地診療所4か所)とデータ連携システムで繋がっており、各種診療支援などを行っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を超え黒字となっているが、一般会計からの繰出しによるものである。
 ②医薬収支比率は、平均値に近くなってきているが、前年を下回った。
 ③累積欠損比率は、平均値より低い数値で推移している。一般会計からの繰出しにより事業収支は黒字化となったが累積欠損金の削減には至っていない。
 ④病床利用率は、上昇傾向であったが前年を下回っている。
 ⑤入院患者1人1日当たり収益は、平均値よりかなり低い値である。
 ⑥外来患者1人1日当たり収益は、平均値に近い値で推移している。
 ⑦職員給与費対医薬収支比率は、平均値より低い数値で推移しており、職員配置は適切と分析される。
 ⑧材料費対医薬収支比率は、平均値を下回っており、材料費は適正と分析される。
 ⑨病床利用率が低いこと、及び、入院患者1人1日当たり収益が低いことが医薬収支比率に影響を及ぼしているものと考えられる。

2. 老朽化の状況について

病院施設については、昭和49年に旧棟を建設、平成7年度に新棟を増築、旧棟部分は、老朽化等のため修繕が必要な部分が多く見受けられ、耐震指数が基準以下の部分があることから、建替えを予定している。
 ①有形固定資産減価償却率及び②機械備品減価償却率において、平均値より高い数値となっており、老朽化が進んでいる状況である。
 ③1床当たり有形固定資産は、平均値よりかなり低い数値であり、更新投資が少ない状況である。

全体総括

医療制度の改正等による医師不足等の影響により、平成15年頃より経営が悪化し、政策審議会からの提言を受け、平成20年10月に指定管理者制度に移行した。これにより、より効率的な運営に努め、地域医療の提供体制は徐々に整ってきたが、依然として経営健全化への見通しは厳しいものとなっている。
 経営状況としては、一般会計からの繰出しにより黒字化したもののであるが、今後、老朽化した医療機器の更新が必要となることや施設の建替えを踏まえた修繕も必要と考える。なお、現指定管理者との協定が平成29年度で満了となることから、その後の経営形態については、市として民間譲渡を目指す方針を固めた。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。